



おとふけ

社協だより

No. 146

発行 社会福祉法人 音更町社会福祉協議会 音更町大通 11 丁目 1 番地 ☎ 42-2400
E-mail : otofuke-shakyo@rainbow.plala.or.jp
HP : <http://otofuke-shakyo.jp>

令和 2 年 9 月 25 日

10月1日より74回目の「赤い羽根共同募金運動」が始まります

～あなたは一人じゃない～

支える人がいて、支えられる人がいる。
「助け合う」という言葉はとても温かい言葉だと思います。
そこには「人」がいて「人」がいる。
けっして一人じゃない。
一人にさせない。
「困ったときはお互いさま」の精神から始まった赤い羽根の募金活動。
世の中の、誰もがしんどい今こそ、そのチカラを発揮するときです。

～意志あるお金 募金のチカラ～

共同募金は非営利の民間福祉活動を財政的に支援する寄付募集で、お預かりした募金は福祉団体や施設に助成されます。

厚生労働大臣の告示によって募集期間が決められており、10月からは赤い羽根共同募金を、12月中は歳末たすけあい募金もあわせて行います。

昨年は3,216,857円の共同募金の協力をいただきました。寄せられた募金は一旦北海道共同募金会へ送金した後、音更町内の福祉事業と全道各地の福祉施設や団体の支援に充てられました。その他、募金の一部は大規模な災害に備えた準備金として積み立てられます。



フェイスブックはじめました!

本会で実施している事業や町民主体の活動について情報発信していきます。ぜひご覧ください! スマートフォンの方はこちらから!
※本会ホームページからもご覧いただけます。

→ <http://otofuke-shakyo.jp/>



QRコード

この社協だよりは、赤い羽根共同募金助成金が使われています。



今年度 音更町共同募金委員会の目標額は
3,800,000円です

目標額とは？

赤い羽根共同募金は集まった寄付金を特定の配分先などに単純に配分しているわけではありません。まず、さまざまな団体に申請を呼びかけ、配分を受けるための申請をいただきます。その内容について考慮した後、配分計画を作成します。

そしてこの計画に必要な額を「目標額」に設定して募金を行う仕組みです。

赤い羽根共同募金の流れ

共同募金活動の展開方法

封筒募金

各戸へ募金用封筒を配布しご協力をいただく募金

法人募金

企業や商店などにご協力いただく募金

町内会募金

町内会を通じご協力いただく募金

職域募金

企業や団体などに働く方々よりご協力いただく募金

学校募金

町内の小・中・高等学校にご協力いただく募金

その他の募金

イベント募金や募金箱への寄付など

寄付金付きピンバッジの購入

1個500円のピンバッジを購入することで制作費を差し引いた額が音更町の募金となります。

北海道共同募金会

音更町内の活動に配分

ボランティアセンター事業

地域交流サロンの推進

社協だよりの発行

子ども食堂の運営補助

北海道内の活動に配分

もしもに備えた災害準備金

地域推進を目的とした総合支援事業

地域障がい児者支援事業

地域青少年児童健全育成事業

住民全般を対象とした事業

緊急性のある事業

～このような場所にも赤い羽根共同募金が役立てられています。～

「あかげら工房」

令和2年度全道広域
使途計画助成（A計画）
において助成を受け、
新しいプリンターが整
備されました。



この度、赤い羽根共同募金の助成を受け、あかげら工房に新しいエコタンク式プリンターが整備されました。

パンのチラシ印刷や日頃の事務作業等でストレスなく印刷できるので助かっています。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

～多くのプロスポーツチームも運動に賛同しています。～

北海道を代表するスポーツチームの選手や監督、漫画家の皆さんが北海道を想い、「赤い羽根サポーター」として宣言し、赤い羽根共同募金運動を応援しています。

今年も北海道日本ハムファイターズや北海道コンサドーレ札幌等、それぞれ「勝利募金」「ヒット募金」「ゴール募金」等さまざまな形で協力しています。



～インターネットからも募金が可能です～

中央共同募金会「ふるサポ」のページからインターネットを通じて募金することもできます。寄付先の都道府県を「北海道」、地域を「河東郡音更町」と選択することで音更町の赤い羽根共同募金への寄付となります。

また、スマートフォン等で右記のQRコードを読み取っていただくことで、寄付のページにアクセスすることが出来ます。

「ふるサポ 赤い羽根」で検索

ふるサポ 赤い羽根

検索



～寄付金付きバッジのご紹介～

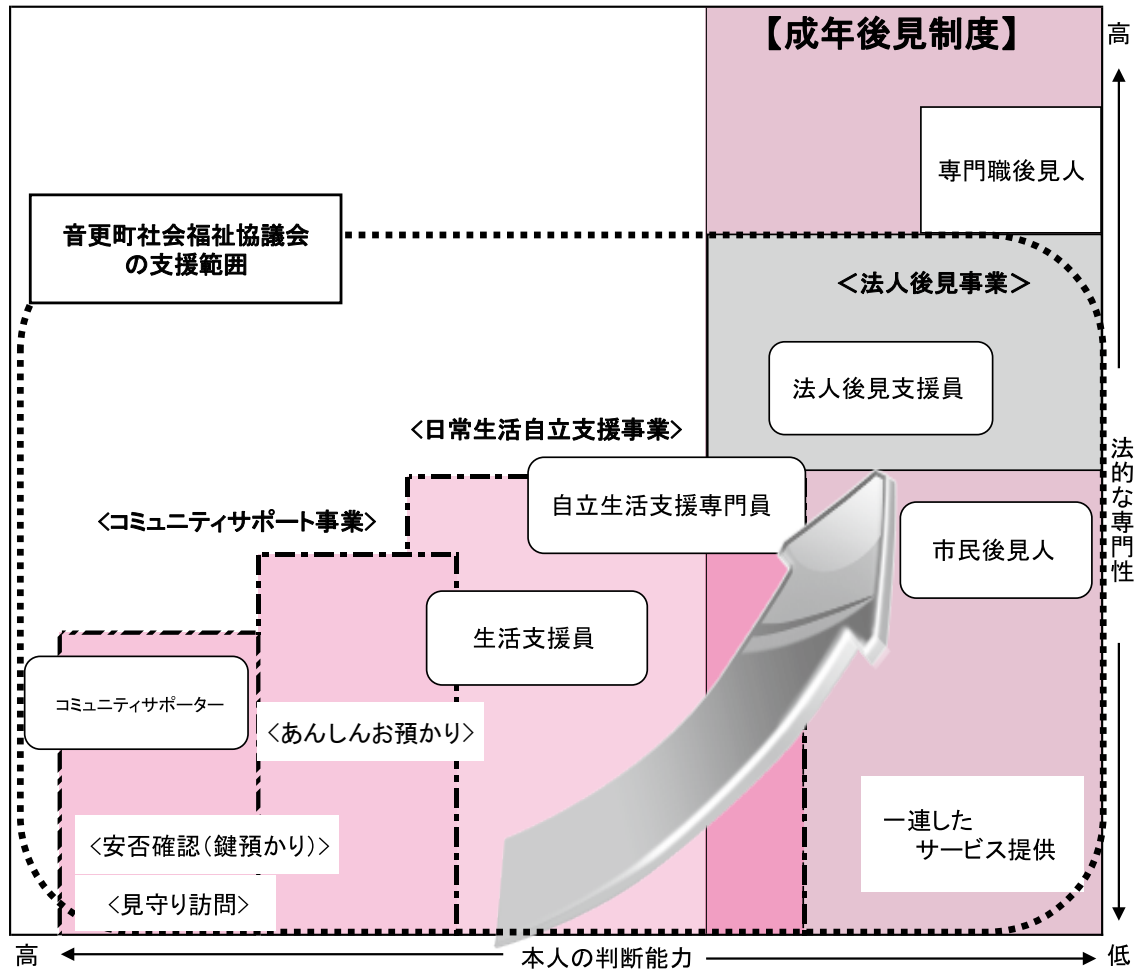
今年度、音更大袖振大豆をモチーフにしたキャラクター「おおそでくん」と北海道限定の「シロクマ」、「初音ミク」の寄付金付きピンバッジをそれぞれ販売しています。

購入いただくと制作費を除いた額が音更町の共同募金となります。

1個500円 音更町総合福祉センター他で取扱い中です！



「コミュニティサポート事業」のご案内



生活支援	一時的通帳預かり	日常的金銭管理	預かり	身上監護	法的行為
・生活見守り ・鍵預かり ・生活支援	・生活費、入院費支払 ・払戻、入金 ・公共料金支払	・生活費支払 ・払戻、入金 ・公共料金支払	・通帳、印鑑・ 証書類の預 かり等	・利用契約 ・入院契約 ・通帳保管	・財産管理処分 ・賃貸借契約 ・遺産分割協議

音更町社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる地域づくりの一環として、新たに「コミュニティサポート事業」を開始します。

上記の図のように、これまで取り組んできた「日常生活自立支援事業（北海道社会福祉協議会より一部業務委託）」「成年後見サポートセンター（町より業務委託）」「法人後見事業」に加え、近隣のちょっとした見守りにより、より安心して暮らし続ける地域づくりと住民同士の「新たな支えあい」の構築を目指します。

具体的な事業については、右ページのコミュニティサポーター養成講座を受講し、本会に登録をしたコミュニティサポーターの協力を得ながら、下記の事業を行ないます。

【コミュニティサポート事業】

①緊急時安否確認（鍵預かり）モデル事業

本会にて利用希望者（75歳以上の単身高齢者等）の鍵を預かり、緊急時には関係機関との連携により入室し安否確認を行ないます。

コミュニティサポーターは平常時の見守り活動を担います（令和2年度はモデル事業として実施）。

②あんしんお預かり事業

何らかの理由により一時的に生活を維持する為の払戻しや支払いが出来ない状態になり、他に適切な支援者が不在の場合、利用希望者との契約により本会が通帳のお預かりや入出金の代行をします。

③見守り訪問事業

在宅で生活している認知症の症状がある方を対象に、コミュニティサポーターが話し相手や介護者不在時の留守番、本人の趣味活動等の見守りを行ないます。

※各事業の利用者募集と事業の開始については12月頃を予定しております。

コミュニティサポーター養成講座

○コミュニティサポーターとは？

音更町が「誰もが安心して生活できる町」となるように、本会職員と共に地域の困りごとや課題について考え、解決に向けて取り組む人です！

※今、手伝っていただきたいのは4～5ページの①と③の事業です。

あなたの少しの協力で
助かる人がいます

○講座概要

- ・日 時：令和2年10月21日（水） 13：00～16：30
- ・場 所：音更町総合福祉センター 大集会室（音更町大通11丁目1番地 電話：42-2400）
- ・内 容：①コミュニティサポーターについて ②認知症の理解 ③在宅訪問の心構え
④実践者の声 ⑤講座修了後の活動について
- ・受講対象者：音更町民であり、音更町の開催する認知症サポーター養成講座を修了している方
（未受講の場合は9月30日開催予定の認知症サポーター養成講座を受講して下さい）
- ・定 員：30名
- ・受講料：無料
- ・申 込：事前の申し込みが必要です。下記まで電話かFAXで申し込みください。
音更町社会福祉協議会（TEL：42-2400、FAX：42-5481）

※10月16日（金）締切

地域のためにできること
探してみませんか？

退職して
自由時間が増えた



こんな人を
募集します！

誰かの役に立ちたい



隙間時間に何かしたい



住民同士の支え合いの仕組みづくり

ラジオ体操

地域住民の有志によって昨年から取り組まれている「みんなでラジオ体操」（雄飛が丘南公園）と「おはよう広場」（音更町総合福祉センター前）の2つのラジオ体操が7月から始まりました。参加者は密に注意しながら体操を行い、参加者同士で会話も楽しんでいます。どちらのラジオ体操も10月末まで行う予定ですのでお気軽に参加ください。



みんなでラジオ体操



おはよう広場

～参加者の声～

「みんなでラジオ体操」に参加する松浦さんは、日頃からプールや体育館で運動をしたり、友人とパークゴルフを楽しむなど、健康に気を付けているそうです。昨年からはまったラジオ体操は1日も休まずに参加しているそうです。毎朝、たくさんの人から声をかけられるととても嬉しく、体力の許す限り続けたいとお話していました。また、松浦さんは福祉施設でお仕事をされていた経験があり、施設利用者へラジオ体操の指導をしていた経験があるそうで、当時のことを思い出し懐かしく感じるそうです。



松浦盛也さん(95歳)

地域交流サロンの活動状況

本会では、地域交流サロンの普及促進に取り組んでおり、現在、町内に20か所の地域交流サロンがあります。しかし、コロナ禍で今年の4月以降多くのサロンが活動中止しておりました。

7月には、地域交流サロンの活動再開に向けて、世話人向けの研修を開催し、音更町の野中主任保健師（保健福祉部保健課）より「新型コロナウイルス感染予防の対策について」講話いただき、各サロンの活動状況についても情報交換しました。令和2年9月1日現在では13カ所が活動を再開しており、感染予防に注意しながら活動いただいております。新型コロナウイルス感染症の拡大状況で開催状況に変更ある場合がございますので、「地域交流サロンに参加してみたい」という方がいらっしゃいましたら本会までお問い合わせください。



《いきいき百歳体操すずらんクラブ》

十分な間隔、換気のもと、体操を行っています。8月中は暑さも厳しい中、休憩や水分補給で熱中症対策も気を付けていました。



《東土狩「つむぎの会」》

普段はおしゃべりやトランプなどをする事が多いのですが、密集しないようレクリエーションを工夫して行っています。



《共栄喜楽会》

「大人のぬりえ」で会話を減らしつつ、楽しんでいます。皆さん集中して取り組むため、時間もあっという間に過ぎていました。

地域の支え合い情報募集!!

ご近所同士、町内会、老人クラブなど対象は問いません。皆さんが行っている活動がありましたら、社会福祉協議会まで情報提供をお願いいたします。(ちょっとしたことでも大歓迎)

地域福祉係 えぶち 江縁まで

「福祉の学習」を推進しています

昨年6月に「福祉の学習支援プログラム」を作成し、授業等の一環で子どもたちでも楽しみながら取り組める様々な福祉プログラムを町内の学校へ提供しております。

そのプログラムの1つとして、先日鈴蘭小学校4年生を対象に「視覚障がいと点字」の授業が行われました。当日は本会職員と視覚障がい支援ボランティアが講師として参加。

目の不自由な人に対して身の回りにはどのような工夫(配慮)があるのかを児童それぞれが考え、その後実際に「点字プレート」を使用して名刺づくりを体験しました。

このような「福祉の学習」を通じて、この地域で生きる様々な人たちのことを知り、自分なら「何が出来るか?」を考えるきっかけになればと思います。

※本事業は赤い羽根共同募金の助成金を活用しております。



ボランティアセンターに登録しませんか？

ボランティアセンターでは個人・団体ボランティアの登録を募集しております。年間を通して長く活動していただける方、またはちょっとボランティアをやってみたい方など、どなたでも大歓迎です。

今は新型コロナウイルスの影響で施設でのボランティア活動が制限されている状況ですが、密を避けながら地域の中で取り組める活動もあります。

また今現在、既に地域の中で何らかの活動されている皆様についても、この機会にボランティアセンターに登録しませんか？ボランティアセンターに登録いただくと様々なメリットがあります。

例えば…

- 活動中の方が一ケガや事故に備えての「ボランティア活動保険」へ加入することができます。
(基本プラン年間350円)
- 募集されているボランティア情報、各種研修会の案内、活動をするうえでの補助金や助成金申請の案内等を情報提供します。
- ボランティアをしてほしい方とボランティアをやりたい方との調整を行います。
- ボランティア活動上のさまざまな相談に応じます。

ご高齢の方や障がいをお持ちの方、また地域の子供たちが楽しく生活するためのお手伝いをしてみませんか？何か特別なことができなくても、同じ時間を一緒に過ごすだけでも立派なボランティア活動です。「ボランティア」をやってみたいとお考えの方は、ぜひ一度ご相談ください。

【問い合わせ】 ボランティアセンター ☎42-5005

マスクご寄付のお礼

6月から総合福祉センター、共栄コミュニティセンター、木野コミュニティセンターの3箇所に「マスク回収ボックス」を設置し多くの皆様からご協力をいただいております。

9月8日現在で布マスク・紙マスクあわせて557枚のご寄付をいただき、そのうち489枚を町内数箇所の社会福祉施設へ寄贈させていただきました。皆様のご協力に対し心よりお礼を申し上げます。

現在は国内のマスクの流通が充足してきたこともあり、総合福祉センターのみに回収ボックスを設置しておりますが、これから冬にかけて再びマスク不足になることも懸念されます。

引き続き皆様からのご協力をお願い申し上げますとともに、一日も早い新型コロナウイルスの収束と町民皆様の健康をお祈りいたします。



* ご厚志ありがとうございました * 令和2年6月12日～令和2年8月28日

預託されました浄財を紹介いたします。 預託された浄財は配分先において有効に活用させていただきます。

社会福祉協議会の行っています各種事業は、会員皆様の会費と寄付金等を主な財源としております。今後とも会員加入とご寄付につきまして、ご支援ご協力いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

◎金 銭

(敬称略)

寄 付 者 氏 名	寄付金(円)	寄 付 金 使 途
匿名	2,000	社協事業へ
三好 政義	50,000	
社)生命保険協会	100,000	コロナウイルス・ 高齢者支援
いきいき百歳体操すずらんクラブ	30,000	

◎物 品

(敬称略)

預託品名	預託者氏名	数 量	
リングプル	宅原 キエ子	8kg	プルネット
	国際ソロブチミストおとふけ	7kg	
	寺尾 弘美	数量不明	
	成田 聖子	数量不明	
	匿名	2kg	
使用済み切手	音更町農業協同組合	数量不明	北海道ユニセフ
	高瀬 恭子	数量不明	
	明治安田生命相互会社音更営業所	数量不明	
	法人後見支援員	数量不明	
	板矢 幸子	45枚	
	寺尾 弘美	数量不明	
	匿名	数量不明	
未使用テレカ	板矢 幸子	4枚	
ベルマーク	匿名	数量不明	町内小学校
タオル・ティッシュ	匿名	数量不明	町内福祉施設
タオル	JAおとふけ女性部	270枚	
	国際ソロブチミストおとふけ	131枚	
	板矢 幸子	50枚	
雑巾・ウエス	板矢 幸子	80枚	
使用済みタオル等	国際ソロブチミストおとふけ	82枚	
トイレトペーパー	国際ソロブチミストおとふけ	18個	
ティッシュ(5個パック)	国際ソロブチミストおとふけ	30個	
トルコキキョウ	川端 伸吾	数量不明	



国際ソロブチミストおとふけ

老人クラブ連合会事務局からのお知らせ

●令和2年度音更町老人クラブ連合会事業の中止について

令和2年度上期に予定していた事業について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となっております。下期予定事業につきましては、今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑みて開催を判断していきます。

※中止となった事業

- ・第41回音更町老人クラブ連合会ゲートボール大会
- ・第26回音更町老人クラブ連合会パークゴルフ大会
- ・令和2年度指導者研修会(十勝北ブロック研修会)

急募

資源ごみ収集運搬にかかる会員の方を募集します

音更町からの委託を受け町内の資源ごみの収集運搬業務を行っております。

概ね60歳以上の健康な方で、本業務に興味のある方はお気軽にリサイクルセンターまでお問い合わせください。

- 収集トラックで町内の資源ごみを回収します。
- 複数で業務にあたりますので未経験の方でも安心して作業に就くことができます。
- 1ヶ月で10日程度の出番になります。



音更町リサイクルセンター (☎42-1020 飛田)

一般除雪作業の予約受付について

11月2日(月) 午前8時45分より今年度の一般住宅除雪作業の受付を開始します。

除雪作業の予約を希望される際は下記までご連絡ください。

音更町高齢者就労センター (☎42-3335)

- ・ 雪の量にもよりますが、作業に入るまで数日お待ちいただくこともあります。
- ・ 時間指定は出来ません。
- ・ 屋根の雪下ろし等、高所での作業は出来ません。

(作業代金) ・ 1,142円より(別途交通費がかかります。)
・ 除雪機を使用する際は追加で1,650円/回



● 除雪作業いただける会員の方を募集します

一般住宅の除雪作業をしていただける会員の方を募集しております。

(内 容) 町内一般住宅の除雪作業(※高所での作業はありません。)

(時 期) 概ね12月から2月頃

(時 間) 午前8時30分～午後4時くらいの間で都合に合わせて

(配分金) 1時間990円 ※別途交通費

※配分金とは会員が実際に仕事を行った際に発生する対価です。会員の仕事は請負・委任として行うものなので「給料」や「賃金」とは異なります。

- 音更町内にお住いの概ね60歳以上の健康な方であれば登録できます。
- 毎月決められた日にセンターから配分金が支払われます。
- 業務にあたるには事前に「高齢者就労センター」へ会員登録が必要です。

